第６回岐阜県トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会

日　時：平成 29 年 3 月 9 日（木）　14 時～
場　所：岐阜県トラック協会会議室
岐阜市日置江 2648-2（岐阜県自動車会館 3 階）

議　事　次　第

１．開　会

２．挨　拶（中部運輸局自動車交通部長）

３．議　題
（１）パイロット事業（実証実験）について
・平成２８年度パイロット事業（実証実験）の結果報告について
・平成２９年度対象集団の選定状況について

（２）先進的事例紹介について
・手待ち時間解消対策について

（３）荷主と運送事業者との話し合いの場について

（４）その他

４．挨　拶（岐阜労働局労働基準部長）

５．閉　会

議事次第、委員名簿、出席者名簿、配席図
資 料 １　　平成２８年度パイロット事業の結果報告
資 料 ２　　手待ち時間解消の取組事例について
資 料 ３　　事例紹介「荷主と運送事業者との話し合いの場について」
参考資料１　第５回トラック輸送における取引環境･労働時間改善中央協議会(2/1)資料
参考資料２　第３回トラック運送業の適正運賃・料金検討会(2/20)資料

岐阜県トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会委員名簿

（順不同・敬称略）

土井　義夫	朝日大学大学院経営学研究科　准教授
山田　英治	岐阜県商工会議所連合会　専務理事
安藤　正弘	（一社）岐阜県経営者協会　専務理事
長縄　　隆	（一社）岐阜県経済同友会　専務理事
小池　孝幸	(株)バローホールディングス　物流部長
松原　芳久	イビデン(株)　総務部長
大羽　浩司	ＫＹＢ(株)　生産企画部課長
後藤　成人	ＫＹＢ(株)　生産管理部課長
渡邉　　修	日本労働組合総連合会岐阜県連合会　交通労連執行委員長
高橋　英彦	全日本運輸産業労働組合岐阜県連合会　執行委員長
山口　嘉彦	（一社）岐阜県トラック協会副会長　(株)エスラインギフ代表取締役社長
田口　利壽	東海西濃運輸(株)代表取締役会長
清水　豊太郎	清水産業(有)代表取締役社長
遠藤　　亮	越美通運(株)代表取締役社長
本間　之輝	岐阜労働局長
鈴木　昭久	中部運輸局長
原　　公寛	岐阜運輸支局長

オブザーバー

赤谷　信幸	東海農政局　経営・事業支援部食品企業課食品専門官
牧野　宏一郎	東海農政局　経営・事業支援部食品企業課流通・企画係長

第6回　岐阜県トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会

出席者名簿

（敬称略）

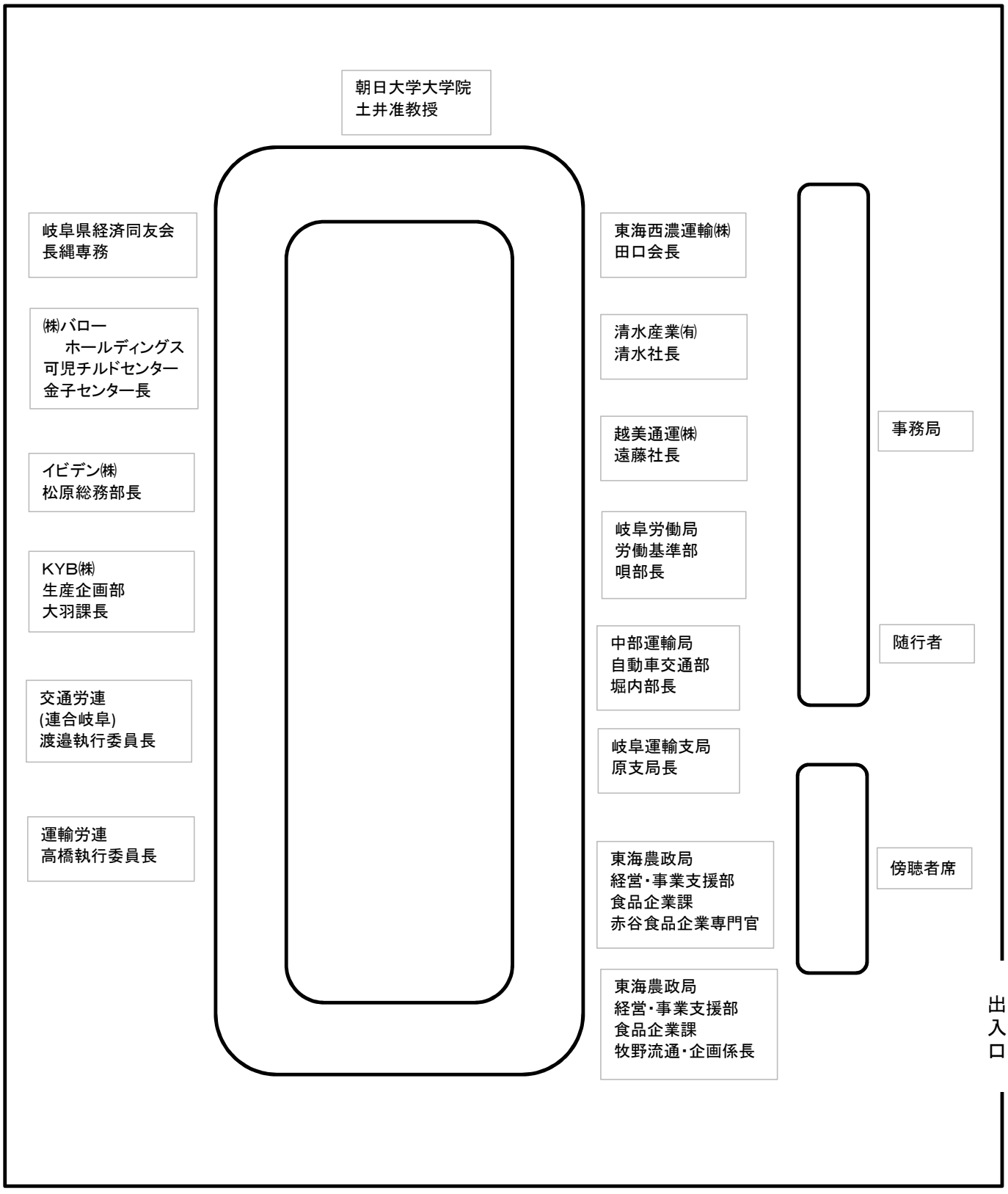
組織名	役職	委員名	代理出席者 役職	出席者名
朝日大学大学院	経営学研究科 准教授	土井　義夫		
岐阜県商工会議所連合会	専務理事	山田　英治	欠席	
（一社）岐阜県経営者協会	専務理事	安藤　正弘	欠席	
（一社）岐阜県経済同友会	専務理事	長縄　隆		
(株)バローホールディングス	物流部長	小池　孝幸	可児チルド物流センター長	金子　孝治
イビデン(株)	総務部長	松原　芳久		
KYB(株)	生産企画部 課長	大羽　浩司		
	生産管理部 課長	後藤　成人	欠席	
日本労働組合総連合会 岐阜県連合会	交通労連 執行委員長	渡邉　修		
全日本運輸産業労働組合 岐阜県連合会	執行委員長	高橋　英彦		
（一社）岐阜県トラック協会	副会長	山口　嘉彦	欠席	
東海西濃運輸(株)	代表取締役会長	田口　利壽		
清水産業(有)	代表取締役社長	清水　豊太郎		
越美通運(株)	代表取締役社長	遠藤　亮		
岐阜労働局	局長	本間　之輝	労働基準部長	唄　繁樹
中部運輸局	局長	鈴木　昭久	自動車交通部長	堀内　哲郎
岐阜運輸支局	支局長	原　公寛		

オブザーバー

東海農政局	食品企業専門官	赤谷　信幸
経営・事業支援部食品企業課	流通・企業係長	牧野　宏一郎

第6回　岐阜県トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会　配席図

岐阜県トラック協会　会議室



資料2

アプリを活用した手待ち時間解消の取組事例
～とある倉庫会社の先進的事例～

1．運送事業者の労働時間短縮への試み

（方法１）配車業務の短縮
（方法２）積込先（納品先）での待ち時間の短縮

2．積込先（納品先）での待ち時間の短縮

（１）IT（スマートフォン）を使う配送業務の効率化

・自動配車システムを使いトラックの動態を可視化し、
配送パートナー（運送事業者）の配送効率向上を支援するもの

運送事業者にとって・・・

- 日々の配車計画策定時間の短縮（２～３時間の所要時間が30分程度に）
- 配車の進捗を確認しながら計画を組むことによるトラブル防止
- 配送状況への迅速な対応（予約時間の逐次変更）も可能

→　配送パートナー（運送事業者）の車両回転率の向上、利益の増進
→　ドライバーの長時間労働の改善に寄与

荷主企業にとって・・・

- リードタイムの短縮による在庫の減少
- 計画的な入出庫による荷役作業員の適正配置

荷卸しは、“早いモノ順、到着した順”　という従来の商慣習を打破

（２）『電子伝票』による入庫時の検品廃止

スマートフォンを使い納品伝票と受領印を電子化
納品商品の写真を添付することで数量の過不足や瑕疵が後からでも確認可能

運送事業者にとって・・・

ドライバー平均滞留時間（約50分）が約15分に短縮

荷主企業にとって・・・

着荷主側での納品情報のトレースが安易に
伝票処理や保管作業（手間）からの開放

これまでの常識を疑うことによる大幅な改善の実現

アプリを活用した手待ち時間解消の取組事例
～とある倉庫会社の先進的事例～

３．成功の秘訣

業務改善の方法
（１）荷主の理解を要請
（２）サービスレベルの向上による効率化の推進

着眼点
サプライチェーンの矛盾が現場ドライバーのしわ寄せにならないために・・・
（１）ドライバーの労働環境改善という業界全体の課題の解決を強調
（２）ドライバー不足で苦境に立たされているパートナーの救済
（３）“メーカーとしての使命”　の探求

４．日本物流連合会（JILS）の評価

取引先を巻き込み全体最適化
ロジスティクスの革新を実現するには、単価の低減や積載率の改善というところから一歩踏み、サプライチェーンを一気通貫で見渡し、全体最適による生産性向上を狙う
（この取り組みでは、納品先である卸まで巻き込み新しい仕組みを構築）

荷主の意識は変わったか
運送需給が逼迫して、運ぶのを断られるケースも出てきており、『運送会社に選んでもらえる荷主になるために、何をすればいいのか』と、意識変化が見られる
（ドライバーや倉庫作業員の不足を荷主側から改善しようとするアプローチが顕著）

ＪＩＬＳの立場

安定供給が物流の最大の使命であることは今も昔も変わらず、それをいかにリーズナブルに実現するかを、われわれは常に問われてきた

リーズナブルとは・・・
① 単に運賃を安くすることではない
② 支払うべきところにはきちんと支払う
③ その上で生産性を上げていく
④ そのためにロジスティクスを高度化してゆく　　ことである